



平成 29 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 ホリイフードサービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 飯田 益弘
 (コード番号 3077)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 根本 輝昌
 電 話 (029) 233-5825

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年3月期において計上しました特別損失の概要をお知らせすると共に、平成28年10月25日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 減損損失

当事業年度において営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗(益益水戸内原店他6店舗)について帳簿価額を回収可能価額まで減額した当該減少額(82,224千円)、及び当事業年度末において新たに閉鎖が確定した店舗(忍家佐原店他1店舗)について帳簿価額の全額(58,693千円)の合計140,918千円を「減損損失」として特別損失に計上いたしました。

(2) 店舗閉鎖損失および店舗閉鎖損失引当金繰入額

当事業年度末において閉鎖を決定した店舗(忍家衣笠店他4店舗)に対し、閉鎖に伴い発生が見込まれる損失額合計18,431千円を「店舗閉鎖損失」及び「店舗閉鎖損失引当金繰入額」として特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想数値の修正について

平成 29 年 3 月期業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損失	1株当たり 当期純損失
前回予想 (A)	7,303	△64	△65	△603	△106円38銭
今回修正予想 (B)	7,292	58	40	△496	△87円50銭
増減額 (B-A)	△10	122	105	106	—
増減率 (%)	△0.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	8,224	334	334	△113	△20円08銭

(業績予想の修正理由)

当事業年度の業績予想につきましては、飲食業全般的には好調に推移しておりますが、当社の属する酒類販売

に依存度の高い業態は社会全般的に酒類消費が落ち込むなか、同業他業態及び他業種による酒類販売強化が加わり、既存店舗は減収傾向を強めつつ推移しております。また、同業態間におきましても比較的安価な業態が好まれる傾向が強く、比較的高単価で営業しております当社業態は来店数の減少が顕著となっております。これらへの対応のため、既存店舗の業態変更及び店舗改装を行いました。誠に遺憾ながら増収効果は限定的なものに留まりました。なお、深夜時間帯の来店数の減少傾向が強まる状況を踏まえ、人員不足への対応及び経費削減を目的とした営業時間の短縮を行いました。これによる減収は概ね僅少なものであると認識しております。

以上の結果、売上高は7,292,771千円(前回予想に対し10,280千円減少)となりました。

利益面につきましては、前述しました営業時間の短縮により人件費及び水道光熱費等を中心とした変動要因を多く有する経費の削減を行いました。また、閉鎖の確定した店舗への後継テナントの紹介に伴う原状回復義務の消滅、その他の既存店舗にかかる原状回復義務に対する資産除去債務の過大計上の取崩を行いました。これらにより販売費及び一般管理費を削減し、営業利益58,140千円(前回予想に対し122,531千円増加)、経常利益40,912千円(前回予想に対し105,953千円増加)と大幅に改善しました。

なお、上記〔1〕に記載しました事項を含めた特別損失520,658千円を計上したことしたことにより当期純損失は496,115千円(前回予想に対し106,998千円減少)となりました。

よって、平成28年10月25日に公表しました平成29年3月期通期の業績予想を修正いたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上